

平成 29 年 6 月 10 日

厚木高等学校同窓会  
会長 曾根秀敏 様

厚木高等学校同窓会  
財政基盤検討委員会  
委員長 足立原 泰

厚木高校同窓会財政基盤強化策について（報告）

同窓会員相互の親睦、交流を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的とする活動は会費等の納入による、全国の同窓生の理解と協力により支えられております。

しかしながら、近年の同窓会の財務状況は、会費納入額が伸び悩む一方、各支部活動の活性化や母校支援など更なる同窓会活動の推進のために、より多くの財源の確保が求められております。

こうした課題の解決のために財政基盤検討委員会（委員長：足立原泰）において、慎重審議を重ね別紙のとおり「財政基盤強化策」を取りまとめましたので、ご報告いたします。

財政基盤検討委員会委員名簿

役職	氏名	所属
委員長	足立原 泰（高 12）	同窓会副会長
委員	曾根秀敏（高 14）	同窓会会長
〃	伊藤修治（高 17）	同窓会副会長
〃	大井恵理子（高 18）	同窓会副会長
〃	杉田泰繁（高 14）	厚木連合会長
〃	高橋 力（高 18）	伊勢原戸陵会会長
〃	八木一郎（高 14）	愛川戸陵会会長
〃	足立原 強（高 16）	厚木戸陵会会長
〃	下川信好（高 14）	睦合戸陵会会長
〃	小淵正志（高 18）	南毛利戸陵会

## 財政基盤強化策

### 1 会費納入制度の見直し等

- (1) 終身会費納入年齢を現行の60歳から65歳へ引き上げる  
【改正理由】年金支給年齢の引き上げ等、10年前の会費納入制度創設時からの社会情勢の変化に対応
- (2) 終身会費納入者を正確に把握し、納入後一定期間を経た者については、改めての寄付金の依頼をする
- (3) 10年会費(18,000円)制については、若年層対策の一環として維持し、期間満了者に対しては引き続きの納入を奨励する
- (4) コンビニ納付の導入を検討する

### 2 会費納入の奨励・促進策について

- (1) 各支部における支部会員への会費納入奨励
- (2) 各支部総会、同期会等開催時における会費納入を奨励  
同窓会活動PR用パンフレット
- (3) 各種イベントにおける会費納入奨励  
地引網、憶い出の杜に親しむ会、チャリティゴルフ等
- (4) 若年層(25歳~50歳)への納入奨励促進  
同窓会報等の送付範囲を若年層へ拡大し、会費納入を奨励する
- (5) 会報への広告掲載により歳入確保の一助とする

### 3 広報と納入奨励

- (1) 同窓会活動紹介パンフレットの作成  
卒業時に同窓会の活動内容を紹介し、理解を深めてもらい加入を促進する。  
総会、支部総会等への出席を契機に、同窓会活動を理解してもらい、活動参加と会費納入を呼びかける。
- (2) 会員への広報活動の充実と同窓会活動への参加呼びかけ  
会費納入者には、総会案内、会費納入依頼文、会報、厚高新聞等の配布を原則とし、各支部を通じて行い、継続した協力を依頼する。  
なお、支部に属さない会員には、個別に郵送する。  
会費未納者には、各支部と協力して同窓会活動の紹介を予算の範囲内で広報し、納入を奨励する。
  - 卒業回数を限定しての納付奨励
  - 会報等の若年層への送付
  - 20歳、30歳等の同期会開催時の本部からの役員出席と呼びかけ

#### 4 その他

##### (1) 各卒回別幹事の活用

各同期会、クラス会開催の幹事との連携を強化し、情報の共有と会費納入及び寄付金の呼びかけを行う

##### (2) 同窓会事業における同窓会本部の関わり方を検討する

##### (3) 社会貢献という視点からの同窓会と地域社会の関わり方を検討する

##### (4) 若年層に共感を得られる事業を研究する

#### 5 財政基盤検討委員会開催状況

日時	案件
財政基盤検討委員会 準備委員会 平成 28 年 9 月 11 日 (日)	1 今後の同窓会財政基盤強化にむけた取り組みについて
第 1 回財政基盤検討委員会 平成 28 年 10 月 29 日 (土)	1 検討課題 (1) 現行の会費徴収の見直しについて (2) 会費納入の奨励・促進策について (3) 同窓会活動の広報と会費納入の奨励について
第 2 回財政基盤検討委員会 平成 28 年 12 月 3 日 (土)	1 前回からの審議事項 2 今後の同窓会財政基盤強化に向けた取り組みについて
第 3 回財政基盤検討委員会 平成 29 年 1 月 21 日 (土)	1 コンビニ納付について 2 今後の財政基盤強化に向けた対応策(案)について
第 4 回財政基盤検討委員会 平成 29 年 2 月 25 日 (土)	1 財政基盤強化策(案)について